

# みんなのちから

4月2日(金) ~ 4月6日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム 研修①「オリエンテーション」	研修②「リーダーとは？」
2日目	研修③「カートンドッグ」 研修④「野外炊飯」	研修⑤「工作」	研修⑥「キャンプファイア」
3日目	研修のまとめ	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	屋内レクリエーション
4日目	カートンドッグ 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
5日目	清掃、思い出工作	施設を出発 解散式	

**一日目：** おはようございます。4月に入り、新年度が始まるこの時期に、20年度の総仕上げとして、ジュニアリーダー体験が始まります。これまで経験してきた事、学んできた事を糧にリーダーとして、更なる成長の糧を獲得しましょう。施設に向かい、先に昼食を取ったのですが、皆まだ緊張をされているようで、あまり会話が弾みません。その状態で入所をし、【仲間づくりゲーム】を行いました。初めは困惑されていましたが、徐々に会話が増え、声が大きくなり、友達と交流を深めていきました。自身の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりして、レクリエーションを行っていきました。レクリエーションの一つ一つに意味や想いがあり、それを説明するごとにしっかりとノートに記されている姿から、今回の意気込みを大いに感じる事が出来ました。オリエンテーションとして、施設の使い方の説明をしました。これらの説明はまるかじりメンバーには皆さんからしていただくので、必死にメモを取り、各々伝えるための工夫をされていました。夕食は食堂で、ここで少しホッとされていたように感じました。夜のプログラムは天候が怪しかったので、屋内で座学を行いました。テーマは【リーダーとは？】です。お兄さんやお姉さんとリーダーの違いってなんだろう、を主に話を進めました。なんとなく分かっているのだけど、それを具体的に説明が難しい状況を少しずつ解きほどこき伝えました。明日からは実技をメインに進めます。今日感じた事、学んだ事を活かして、リーダーステップを上げていきましょう!!

**二日目：** 朝からダンスにて一日が始まりました。朝食、昼食と野外炊事なので、早速野外炊事の座学から研修が始まりました。まるかじりツアーでも同じく野外炊事がありますので、しっかりと学んで身に付けていただきます。朝食は【パックドッグ】です。過去に何度も経験された事がある方もおられましたが、やり方を確認し、メンバーに教えられるように自身の言葉に変えていきます。手慣れた動きもあり、予想以上の早さで完成しました。片付けを終えた後は続けて【カレー】作りについて研修を行いました。カレー作りはほとんどの方が経験ありますが、詳しく細かく役割ややる事の配分を確認した事がなく、抜けていた事も多く、再確認がしっかり出来ました。担当に分かれ、こちらも手際良くされており、且つノートも取りつつ行っておられましたので、確かな技術は身に付いたのではないのでしょうか？炊事後は最終日の工作【焼き板】について学びました。内容自体はそこまで多くないのですが、ガスバーナーを扱うので、その危険性を感じつつ、練習として一枚の板を焼き、そこにみんなの想いを書きました。これをパズルのように切り分け、皆に身に付けていただ



きます。夕食後はキャンプファイアの話し合い及び、練習を行いました。やることを決め、内容を決めたのですが、大いに改善の余地はあり、アドバイスを元により良いものを考えておられました。明日から【春まるかじりツアー】が始まります。まだ少し時間はありますが、既にどことなく緊張を醸し出されていました。



**三日目：** 今日からまるかじりメンバーがやってきます。それに向けて、最後の打ち合わせと練習を行います。各々のグループバディ同士で確認し合っている姿が何度も伺えました。最後の研修も終わったところで、念願の名札を得ることが出来ました。その時の表情は本当に嬉しそうで、自身の【リーダーネーム】を意気揚々に書かれています。そして、改めて自身の自己紹介と決意表明をしていただきました。昼食後、ついに対面する時がやってきました。メチャメチャ緊張されておりましたが、自己紹介の時、必死に話されている姿からこの三日間で逞しく成長された様子を伺えました。レクリエーションを通して、緊張も解れていき、楽しそうにメンバーと話されていました。オリエンテーションの際、施設の使い方などの説明もジュニアにさせていただきました。事前にどう話せばいいのか打ち合わせをされていたようで、頑張っておられました。夕食時、低学年の方々のサポートを自然とされており、意識的成長を確認出来ました。夜は雨が降っていたので、レクリエーションに変更し、日中同様メンバーと一緒に楽しまれていました。就寝前にグループリーダーにグループを託して、ジュニアの皆さんは一日の振り返りをしていただきます。一日で、【出来たこと】、【出来なかったこと】を具体的に書いていただき、その理由を追求し、改善し、翌日に繋げていきます。まだまだ意識が足りないところもあり、厳しい意見が出ていました。その言葉をしっかりと汲み取り、胸に秘め、翌日に活かしていただきたいです。振り返りと翌日の確認が終わり次第、各部屋に戻ると予想以上の疲れが出ていたのでしょうか、すぐに休まりました



**四日目：** 朝からプログラム三昧の一日です。二日目に行ったパックドッグが朝食です。作り方は事前に研修で学んでいるので、全体説明はなく、グループ各々説明していただきました。グループによって創意工夫されており、実際に作りながら説明されているグループや、道具などを見せながら説明されているグループがあり、考えて行動されていると感じました。メンバーも作ったパックドッグにご満悦で、その表情を見て嬉しそうにされていました。食べ終わるとカレー作りです。お米とカレー担当はスムーズに進みましたが、火起こしの担当において、なかなか火が着かず、四苦八苦されていました。研修の時はすぐに着いただけに、着かない事に焦りを見せておられ、困惑を隠せず、悪循環に進んでしまいました。見かねたリーダーが着ける事で難を逃れましたが、歯車が狂ったように何事にも上手くいかなくなってきました。片付けの時、メンバーに上手く指示を出す事が出来なかった為、内容が度々変更になってしまい混乱を与えてしまったり、やることが見つからなくて遊ばせてしまったりしました。最後にはリーダーが動いて片付けを済ませてしまいました。野外炊飯の後、グループは自然散策をしていただき、ジュニアの皆さんは話し合いをしました。何がいけなかったのかを徹底して話し合いました。長丁場の中、疲れが見え、そこに抜け目や甘え、判断の鈍りが起こってしまい、結果グループを上手に動かす事が出来ませんでした。ここでも厳しい言葉をもらい、ジュニア達で考える時間を設けました。夕食後はキャンプファイアです。これまで沢山練習した成果を見せる時です。初めの頃とは違いのレクリエーションからも一生懸命さが見え、工夫



されており、メンバーも笑顔いっぱいで大いに楽しんでおられました。その様子を感じる事が出来たので、ジュニアの皆さんも楽しく、嬉しそうにされていました。今晚も振り返りを行います。新しい課題をリーダーから言われ、最終日に臨みます。心身共に疲弊されているのは重々承知しています。その上で、最後の最後まで突っ走りましょう!!



**五日目：** 朝から片付けや清掃で大忙しです。昨夜はたくさん振り返りをしたので、疲れと寝不足ですが、最後の一絞りとして、頑張っって体を動かしておられました。メンバーもジュニアの方々をリーダーと認識されており、自然とジュニアの名前を呼ばれている姿にこれまでの頑張りが表れていました。施設を退室後、最後のプログラム【焼き板】です。各々、このプログラムには自信があるようで、これまでのプログラムに比べて、不安そうな様子はなく胸を張って指導されていました。みんなで思い出の一品を完成させた時、とても嬉しそうにされていました。余った時間は自然散策をし、最後まで有意義な時間を過ごされていたのではないのでしょうか？昼食は最後の食堂利用です。対応は慣れた様子で、上手にサポートされていました。そして、ついに施設を出発する時がやってきました。バスに荷物を積み込み、乗車すると、さすがに疲れが一気に出てきたのでしょうか、休まれている姿が伺えました。解散式の際、まるかじりの親御様にメンバーの報告をしていただきました。親御様を前に緊張されていましたが、共に過ごされてきた確かな記憶と思い出を一生懸命ご報告されていました。まるかじりツアー解散後、各担当リーダーと最後の振り返りです。暖かい言葉も厳しい言葉も最後となるので、いつも以上に真剣に聞いておられました。五日間、これまで経験した事のない厳しい日々だったと思います。それでも、誰もリタイアされる事なく、匙を投げれる事もなく、最後までやり切った皆さんに最大の賞賛を送ります。本当にお疲れ様でした。そして、いつか同じ舞台に立たれる日を楽しみにしています。



## <キャンプ総括>

この【みんなのちから】は年度最後のキャンプにして、身体的よりも精神的に一番響くキャンプです。誰も適当にされていないし、考えられる最大限の知恵と知識を振り絞って臨まれておられるにも関わらず、それが全く通用せず、時には否定をされ、指導を受け、毎日ボロボロになります。大人の我々だと到底耐えられない内容であります。それを五日間、一度もギブアップをされず、最後まで立ち向かわれた七人を、私は本当に凄いと思います。尊敬に値すると言っても過言ではありません。何故、そのような状況にも関わらずキャンプを続けられるのか、それは『使命感』があるからだとは私は考えています。皆、「リーダーとして頑張りたい!」の想い一心で立ち向かわれていました。だからこそ、こちらもしっかり向き合い、一人一人に言葉を投げ掛けました。この五日間でどこまで成長されたかは今は分かりません。この成果が芽吹くのは何年後かかもしれません。ただ、我々は皆さんに【きっかけ】は確かに植えさせていただきました。是非ともご自身のお力で芽生えさせ、栄養を与え、立派に成長させて欲しいと切に願います。本当に立ち向かう姿が立派でした。そして、またこの「みんなのちから」でお会いし、新たな成長を一緒に遂げましょう!!

(竹中 哲郎)